

# いちご栽培管理 (R6.2.)

(有) 丸 富

1月は比較的穏やかな冬の日差しで、ゆっくりと生育が進んだ。中旬以降、冷え込んで、生育が鈍り、収穫が減少した。慣行区では不受精果が多く、例年より品質が悪かった。各地でネズミや害虫の発生が多かった。

## 害虫対策

樹勢が低下すると、ダニが繁殖するので注意する。急に気温が下がると、ハウス内にネズミが入りやすいので、注意する。

隠れている害虫やネズミ対策に**バイオアクトTS 50～100 cc/10a**を灌水して、害虫やネズミ対策を行う。害虫の繁殖抑制に**バイオアクトTS 2,000～3,000倍**を防除時に混用する。

## 品質の向上

日照時間が短い厳寒期は、光合成も少なく、養分競合すると花粉が弱くなる。花粉の量が多いと、蜂の活動が活発になり、品質が向上する。

出蕾後、開花前から**天地の恵み 200 cc/10a**と**酸カル 50 cc/10a**と**サンミネーラ 50 cc/10a**を2、3回灌水する。

## 着色促進

日照不足が続くと着色が遅れ、着果負担が大きくなる。早く収穫することを心がける。果実は早く収穫すれば、次の果実がまた着色して次々に収穫できる。

着色促進に**笑顔 1,000倍 (又は天地の恵み 500倍)**と**サンミネーラ 10,000倍**を連続で葉面散布する。

## 肥大促進

遠日点では徒長傾向になるので、徒長を抑制して、果実の肥大を促進する。

肥大促進に**K-40 250g/10a**と**酸カル 50 cc/10a**と**サンミネーラ 50 cc/10a**を灌水する。

## 病害対策

遠日点の新月過ぎは急に軟弱徒長し、病害の発生が多くなるので、窒素過多に注意する。

病害抵抗性の向上と細胞壁強化に**酸カル 2,000～3,000倍**と**サンミネーラ 10,000倍**を防除時に混用する。

## 追肥(液肥)

施用量は肥料、土質、樹勢、環境などによって加減する。

**プロ液肥** 5～7ℓ/10a

**時を越えた贈り物(又は天地の恵み)** 100～200cc/10a

**サンミネーラ** 50～100cc/10a

**バイオアクトTS** 50～70cc/10a

5～7日毎に灌水する場合  
※状況に応じて加減する

※サンミネーラの代わりに

シリアップ 100～150 cc、天然ミネラル 200～300 cc、海藻のエキス 50～100 g でもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富 TEL (0942) 65-0123

**FAX0942-65-1091** (24時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)